

愛知県環境影響評価審査会小牧岩倉ごみ処理施設部会会議録

1 日時

平成 21 年 3 月 25 日（水）

午前 10 時から 午前 11 時まで

2 場所

愛知県自治センター 4 階 大会議室

3 議事

- (1) 小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価方法書について
- (2) その他

4 出席者

(1) 委員

北田部会長、内田委員、大東委員、成瀬委員、堀越委員、丸山委員、吉村委員（以上 7 名）

(2) 事務局（愛知県）

（環境部）山本技監

（環境活動推進課）伊藤課長、坂井主幹、伊藤主任主査、松尾主査、
関本技師、服部技師

（大気環境課）中根主任、森技師

（水地盤環境課）平野主査

（自然環境課）高橋主任

（資源循環推進課）永井主査、戸田主査

(3) 事業者

（小牧市）秋田課長補佐

（小牧岩倉衛生組合）平岩技監、後藤係長、岩本主事

5 傍聴人等

傍聴人 4 名、報道関係者なし

6 会議内容

(1) 開会

(2) 議事

ア 小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価方法書について

- ・ 会議録の署名について北田部会長が、大東委員と堀越委員を指名した。
- ・ 資料1「前回部会（2月9日）における指摘事項及びその対応」、資料2「小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価方法書に関する関係市長意見（春日井市長、犬山市長及び小牧市長）」、資料3「小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価方法書に関する部会報告（案）」について、事務局から説明があった。

< 質疑応答 >

【堀越委員】 老人ホーム等施設の北側の道路については、方法書のP13では「その他運行ルート」としているが、部会報告案では、工事用車両はこのルートにおける走行を避けることなど適切な配慮を求めるということか。

【事務局】 そのとおりである。P13の「主要運行ルート」を主に使い、老人ホーム等施設の北側の道路の走行は避けるよう指導を徹底させることなどを求めるものである。

【内田委員】 大洞川について現地確認したところ、環境センターと温水プールの排水口が同じ箇所があり、排水口の前後で生息する底生動物が変化していたことから、温水プールからの排水についても確認しつつ、本事業の環境保全措置を検討する必要があるのではないか。

【事務局】 現環境センターからの排水は基本的にはクローズドであり、大洞川に影響を及ぼしている可能性は低いと考えている。環境影響評価における調査については対象事業に係る影響を予測・評価するために行うものであるため、現地確認によりご指摘をいただいた調査地点を中心に適切に把握していくことになる。実際の調査にあたっては、ご指摘を踏まえ、温水プール等からの排水についても確認させたい。

【内田委員】 環境センターと温水プールの排水については、ある一時

期だけの排水でも、底生動物は変わってくる場合があるので、排水の調査方法等を工夫する必要がある。

【事務局】 実際の調査にあたっては、ご指摘を踏まえ、調査方法を検討するよう指示する。

【大東委員】 今回新たに建設する施設の構造や基礎工事の範囲は未定ということか。

【事務局】 焼却炉の方式を3通りの案から今後決定することとしているため、施設の構造や土工の範囲についても未定である。

【大東委員】 今回の事業実施区域は既存の造成地であり、新規に山を切り崩すということではないと思うが、既存の造成地であっても深く掘り込むような工事であれば、周辺への影響も多少あるのではないかと思うので、準備書段階では計画内容を具体化させ、適切に対応していただきたい。

【事務局】 部会報告案の「1 全般的事項(1)」にあるとおり、事業計画等が具体化した段階で、適切な対応を求めている。

【丸山委員】 事業実施区域内の調整池について、人工物ではあるが、現況を見ると生物の生息場所となるなど自然的な部分もあり、環境を保全することが必要と思われるので、調査する必要があるのではないか。

【事務局】 施設の建設による調整池の改変については、具体的な計画は未定であり、今後、工事計画が検討されることとなる。水質の調査は調整池から流れ込む大洞川で実施し、水生生物の調査については調整池でも行われる。

【丸山委員】 現施設の煙突は規模が大きく、存在感がかなりあるので、準備書段階では存在感を緩和できるような構造やデザイン、緑化・色彩等を検討するよう事業者伝えてほしい。

【事務局】 承知した。具体的な建設計画等の中でデザイン等にも配慮するよう事業者伝える。

【北田部会長】 新施設の建設によって、調整池の容量が減少することはあるのか。

【事務局】 具体的には決まっていないが、調整池を埋め立てる場合には、必要容量を確保するために南側の駐車場部分を調整池として追加することも考えていると聞いている。

【成瀬委員】 老人ホーム等施設周辺は現状では非常に静かな地域なので、施設の操業による影響を確認するため環境騒音・振動

の調査も実施した方がよいのではないか。

【事務局】 老人ホーム等施設周辺においては、低周波音の調査を行うので、実際の調査では併せて騒音・振動についても調査させたい。

【北田部会長】 温水プールを訪れる車両については、夏季には非常に多くなると考えられ、ごみ搬入車両の運行に影響する可能性があるので、何か検討する必要があるのではないか。

【事務局】 ご指摘の点は、ごみ搬入車両等に係る運行計画を立てる際に考慮される内容であり、そうした状況を踏まえて予測及び評価が行われるものと考えている。

- ・資料3の「小牧岩倉衛生組合環境センターごみ処理施設更新に係る環境影響評価方法書に関する部会報告(案)」をそのまま部会報告とすることです承された。

イ その他

- ・事務局から、特にない旨の発言があった。

(3) 閉会